

ふもと 織姫山の麓から

法玄寺報
第50号
令和5年秋
(2023年)



雅楽の夕べを行いました

箏を演奏する中村仁美さん（左）と笙を演奏する中山華子さん（右）

恒例の千灯供養を行い、その後のコンサートでは雅楽の演奏を行いました。

雅楽は世界最古のオーケストラと言われ、ユネスコの世界無形文化遺産に登録されています。雅楽は奈良時代に大陸から伝来し、平安時代に現在の様式となり宮中で演奏され舞楽も行われてきました。

現在では宮中で演奏されるほか、神社や寺でも演奏されています。大本山の増上寺にも雅楽会があり、仏教行事の際に演奏されています。当山でも先代住職の本葬の際や落慶式にも、増上寺雅楽会に演奏をお願いしました。

今回の雅楽のコンサートでは、は箏（ひちりき）奏者の中村仁美さんと笙（しょう）奏者の中山華子さんをお招きしました。伝統的な装束を身にまとい、雅楽の定番の曲や日本の民謡などを演奏しました。また演奏の間には、それぞれの楽器の説明もあつたので、雅楽の伝統を知ることができました。雅楽の演奏は実際に聞くことは稀なので、約60人の観客は秋の本堂に響き渡る優雅な雅楽の音に聞き入っていました。

なお今回も、演奏の後に子ども食堂のためのチャリティーを行い、多くの方々が協力してくれました。

千灯供養



昨年からは檀家や地域の方々に参加していただき、恒例の行事である千灯供養を再開しました。

10月7日の土曜日、午後6時から境内を200本のローソクでライトアップして、一切精霊祭壇の前で実施しました。最初は風があり、ローソクが消えてしまい大変でした。幸い開始から15分を過ぎた頃から風も収まり、ローソクを灯すことができました。

約60人の人たちが集まり、輪になってローソクを右から左に回して一切精霊祭壇に並べた点灯台に上から点灯しました。祭壇の点灯が終わると、祭壇下の周囲に並べられた点灯台にローソクを灯しました。最後には風も収まり、秋の夜にローソクが美しい光景を作り出しました。



風が強かったですが、何とかローソクを灯すことができました

子ども食堂に寄付



日本では、子どもの貧困が大きな問題になっています。このため全国各地で子ども食堂が運営され、恵まれない子どもたちに食事を提供しています。足利にも子ども食堂がいくつかあります。

当山の行事はヨガ教室をのぞき無料で開催して、子ども食堂のためのチャリティーを行っています。今年も5月の鷹匠のあと10月の千灯供養の後の雅楽のコンサートでチャリティーを行いました。このたびチャリティーで集まった浄財約8万円を永楽町にある子ども食堂『子どもの居場所OZ』に寄付しました。



子ども食堂『子どもの居場所OZ』の代表関口有子さんに住職が寄付を手渡しました

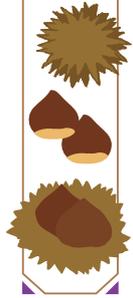
鷹匠	雅楽	合計
53,318円	26,080円	79,398円



ナラ枯れ病で枯れたナラの木を切りました

に連絡しましたが、対応は後になるとのことでした。倒れると下にある墓地を損傷するおそれがあるので、市の対応を待つことなく切ることにしました。幸い、織姫神社の下の通路に重機が入れるので、ここに重機を置き作業員が木に登り吊りし切りにしました。

ナラ枯れ病の木を伐採

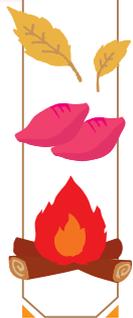


最近、栃木県ではナラ枯れ病が発生して多くのナラの木が枯れました。ナラ枯れ病はカシノナガキクイムシがナラの木に入り込み、ナラ菌を木の中に増殖させて木を枯らす病気です。

近年足利でもナラ枯れ病の被害が出るようになりました。檀家の栗田さんは栗田美術館の館長をしておりますが、ナラ枯れ病で木が枯れる被害がでて大変だったと言います。

当山にはナラの木が1本、山の墓地の上にあります。8月末、ナラの木の葉は茶色に変色してしまいました。すぐに市

シロアリ対策



先日、シロアリにより和室の床がへこむようになりました。専門の業者に調べてもらったところ、庫裏全体の床下でどこどころシロアリの被害が確認されました。

そこでこの業者に依頼して、庫裏の床下全体に駆除のための薬剤を散布するにしました。作業員が床下に潜るため、2力所の床板を外して作業員が入り薬剤を散布しました。薬剤は境内に置いた車からポンプで運ぶため、3人の作業員が一日半がかりで行いました。

以前は強い薬剤を使っていて、一度散布すると30年近く効力がありました。しかし最近では、人間の健康への影響を考慮して弱い薬剤を使うため、効力は5年ほどです。また5年後にシロアリ対策をしなければなりません。



庫裏の床下に白アリ駆除の薬剤を散布しました。

法衣室を寺務室に改造



現在の庫裡は55年前の昭和42年（一九六七年）に建てられました。もちろんパソコンなどない時代です。このため寺の事務を行う寺務室も、過去帳をはじめ書類を置いたりする部屋として作られていました。パソコンなどOA機器が導入されても、以前のまま南側の寺務室に置いて使ってきました。

しかしパソコンなどの機器類は、陽が当たらない方が望ましいです。そこで南側にある寺務室と北側にある法衣室とを入れ替えることにしました。まず北側の法衣室を改造して寺務室にしました。改造では、法衣棚の入った場所に机を置き、パソコンとプリンターを置きました。その上に棚を作り、必要



北側にあった法衣室

な文書をすぐに取り出せるようにしましたパソコンやプリンターも使いやすいうえ、必要な書類がすぐに取り出せるので機能的にも大きく改善されました。

また北側にあるアルミサッシの窓も老朽化して、隙間風が入るようになりました。取り換えると窓枠工事も必要で費用がかかるため、内側に新しい窓を作り、二重窓にしました。エアコンも設置してOA機器に望ましい環境にしました。なお改造では、太田にある社寺建設を専門とする赤石建設に依頼しました。

来年初めからは、南側の寺務室を法衣室に改造することになります。衣は北側だと湿気がありカビが生えやすいので、南側が望ましいです。現在、赤石建設に設計を依頼しており、来年の1月中旬から工事に入る予定です。



法衣室を改造して作った寺務室